TAKIZUMI

保証書添付　保管用

LEDシーリングライト
取扱説明書
GYL8SR0010102

お客様へ

この度は、タキズミ照明器具をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
「取扱説明書」をよくご覧のうえ、正しく安全にご使用ください。
ご使用前に「安全上のご注意」を必ずお読みください。
保証書はお買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ

この説明書は工事終了後、この器具をご使用になるお客様にお渡しください。

品番　TXS80028

【安全上のご注意】必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

◆誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

警告	「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。
注意	「傷害を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

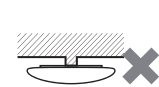
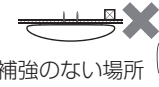
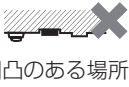
◆お守りいただく内容を、次の図記号で説明しています。

(禁止)(分解禁止)	してはいけない内容です。
(必ず守る)	実行しなければならない内容です。

警告

■取付面

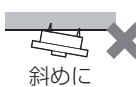
禁止

●**次のような場所には取り付けないでください。**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

不安定な場所　傾斜した場所　壁面
補強のない場所（ベニヤ板や石こうボードなど）　凹凸のある場所
格子天井　サオブチ天井　変形天井

◎**この器具は水平天井専用です。**

■配線器具

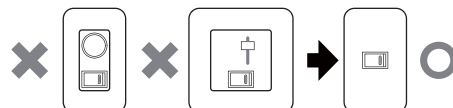
禁止

●**次のような配線器具（ローゼット・引掛シーリング）には取り付けないでください。**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

ガタつきがあるもの 破損しているもの
電源端子が露出しているもの（電源端子）
斜めに取り付けられたもの
シーリングハンガーが取り付けられたもの（シーリングハンガー）
ケースウェイに取り付けられたもの（ケースウェイ）
内装材の重ね貼りなどにより出しろが小さくなったもの（10mm未満 ローゼット、21mm未満 引掛シーリング）

◎**販売店、工事店に交換を依頼してください。**
（工事には資格が必要です。）

■壁スイッチ

必ず守る

●**調光機能が付いた壁スイッチの場合は、一般の入切用スイッチに交換してください。**
火災のおそれがあります。

◎**販売店、工事店に交換を依頼してください。**
（工事には資格が必要です。）

■その他

必ず守る

●**交流100ボルトで使用してください。**
過電圧を加えると過熱し、火災・感電のおそれがあります。

●**異常を感じた場合、速やかに電源を切ってください。**
異常状態が収まったことを確認し、お客様相談室にご相談ください。

●**アダプタは確実に取り付けてください。**
落下してけがのおそれがあります。

●**本体は確実に取り付けてください。**
破損して感電のおそれがあります。

●**本体が簡単に回転しないことを確認してからカバーを取り付けてください。**
破損して感電のおそれがります。

分解禁止

●**器具を改造したり、部品交換をしないでください。**
火災、感電、落下によるけがのおそれがあります。

⚠注意

必ず守る

●照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換してください。

点検せずに長期間使い続けるとまれに火災、感電、落下などに至る場合があります。

◎1年に1回は「安全チェックシート」に基づき自主点検してください。
（弊社ホームページより書式をダウンロードしてご使用ください。）
http://www.takizumi-denki.com/safety/anzen_check_seat_jyuutaku.pdf

●この製品は5℃～35℃の範囲内で使用してください。

火災、感電の原因となることがあります。

●付属の梱包材は取り除いて使用してください。

そのまま使用すると、火災の原因となることがあります。

●電池を入れるときは極性表示（プラス＋とマイナス－の向き）を間違えないでください。

●指定以外のものや新旧の電池をまぜて使わないでください。

機器の表示通り正しく入れてください。
間違えますと発火や電池の液もれの原因となる場合があります。

必ず守る

●取付け・取りはずし時などは足場を確保し、安全に作業できるよう注意してください。

転倒・落下してケガをするおそれがあります。

●カバーなどが破損した場合、けがの原因になることがありますので、破損部分に直接手や肌などを触れないでください。

◎破損した状態のまま使用すると感電、けがの原因になることがあります。
販売店に点検、部品の交換、修理を依頼してください。

接触禁止

●点灯中や消灯直後は本体やその周辺にさわらないでください。

やけどの原因となることがあります。

◎お手入れは電源を切り、本体やその周辺が冷めてから行ってください。

水ぬれ禁止

●浴室など湿気の多い場所や屋外で使用しないでください。

火災、感電の原因となることがあります。

◎この器具は防湿、防雨型ではありません。

禁止

●温度の高くなるものを器具の真下に置かないでください。

火災の原因となることがあります。

◎器具の真下にストーブなどを置かないでください。

●LEDを直視しないでください。

目の痛みの原因となることがあります。

【ご使用上に関するお知らせ】

【ご使用上の注意点】

●点灯中や消灯直後、プラスチックの伸縮によるきしみ音が照明器具から発生することがあります。
●停電時、停電復帰時などで予期せぬ非常に短時間の停電が発生した場合、点灯状態が変わる場合があります。
長時間使わないときは、壁スイッチをOFFしてください。
●壁スイッチがないとリモコンの電池が消耗した場合やリモコンを紛失した場合に点灯消灯ができません。
●壁スイッチがＯＮの場合、消灯時も待機時消費電力を消費しています。
●LED、常夜灯にはバラツキがあるため、同一品番でも商品ごとに発光色、明るさが異なる場合があります。
●3Dテレビ用などの特殊なメガネをかけて点灯している照明器具を見た場合、縞模様やちらつきが見える場合があります。
●3Dテレビ視聴時、リモコンが反応しにくい場合があります。
●点灯中にビデオカメラを使用すると、ビデオカメラのモニターや録画画像に縞模様が入る場合があります。
●点灯・消灯表示（発光しているもの）機能の付いたスイッチで使用した場合、誤動作することがあります。
●LED光源は、通常のランプのようにお客様自身でのお取り替えはできません。
●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【周囲の影響】

●器具の近くでは、ラジオやテレビなどの音響、映像通信機器に雑音が入ることがあります。
●器具のきわめて近くでは、リモコン機器（エアコンなど）のリモコンが動作しにくくなることがあります。
●照明器具が点灯しない場合は、電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【お手入れについて】

電源を切って、LEDやその周辺が冷めてから行ってください

●明るく安全に使用していただくため、定期的（6カ月に１回程度）に下記の手順で清掃してください。

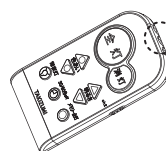
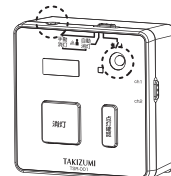
本体：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。**（水洗いはできません。）**

カバー（プラスチックのもの）：石けん水に浸した布をよく絞って拭き取り、洗剤が残らないようによく拭き取る。柔らかい布で拭く。ひどい汚れのときは、よく絞った布で何度も拭き、最後に必ず乾拭きをする。

カバー（木・竹・和紙）：ハタキ・ハケ・柔らかいブラシ等でこまめにホコリを払い落としてください。**（水洗いはできません。）**

●使用条件によっては消耗が早くなります。
（楽らくセンサーは待機時にも常に電池を消耗しています。）

※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
交換時は、２本（楽らくセンサーは3本）とも新しい同じ種類のものを使用してください。
長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

●リモコンや楽らくセンサーの送信部は定期的にお手入れを行ってください。
ほこりなどにより汚れると効きにくくなります。

送信部　　送信部

確認　シンナー、ベンジンなどの揮発性のものでふいたり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、破損の原因となります。

【各部のなまえと付属部品】

取付ける前にまず付属部品をご確認ください

配線器具
（付属していません）

コネクタ

アダプタ
補修品番：LC-104

本体裏面

本体

黒スポンジ
※本体裏面に3カ所ついている
黒スポンジは取らないでください。
（本体回転防止のため必要です）

コネクタ

ＬＥＤ

常夜灯

カバー
※カバーの形状は
品番により異なります。

リモコン付属部品

リモコン
補修品番：TLR-002

※リモコン前面の
保護シートは
取りはずしてから
ご使用ください。

リモコン
ケース

木ネジ
２個

単４形
乾電池
２個

楽らくセンサー付属部品

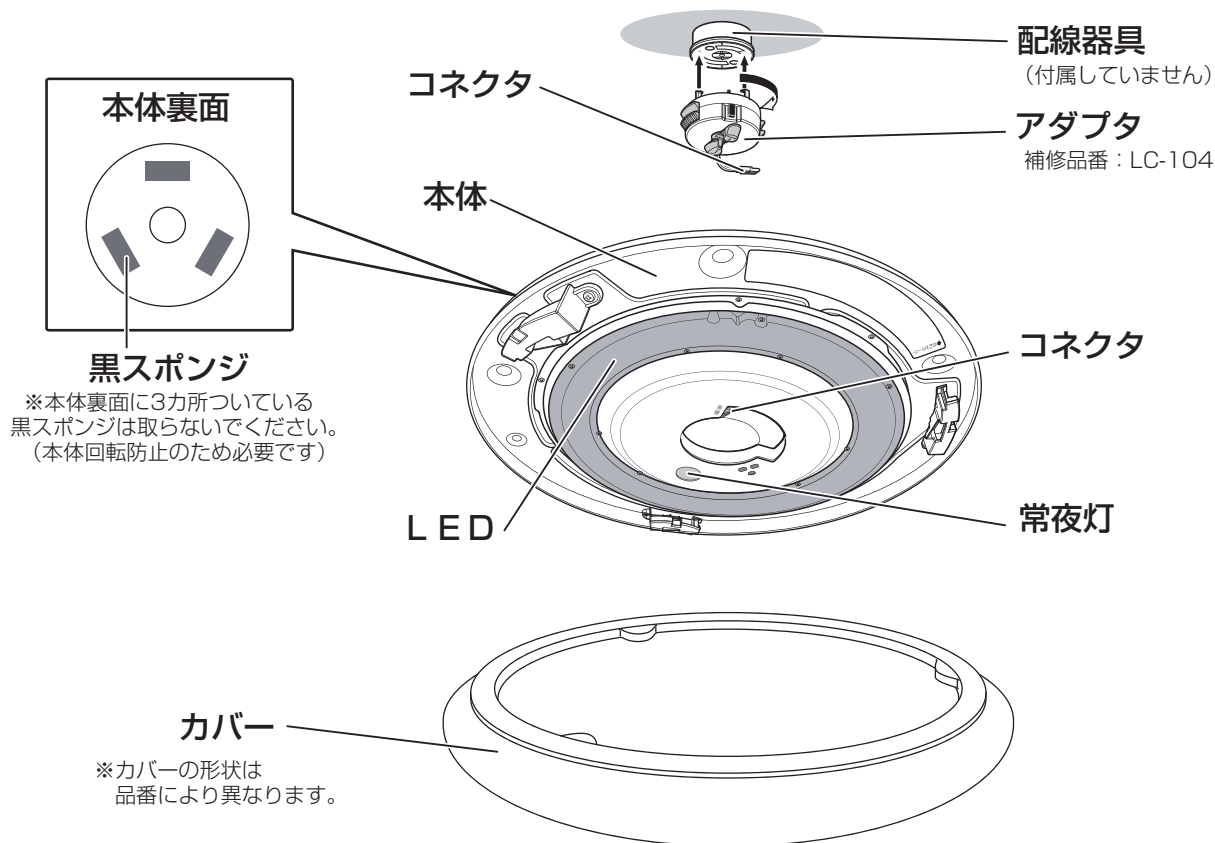
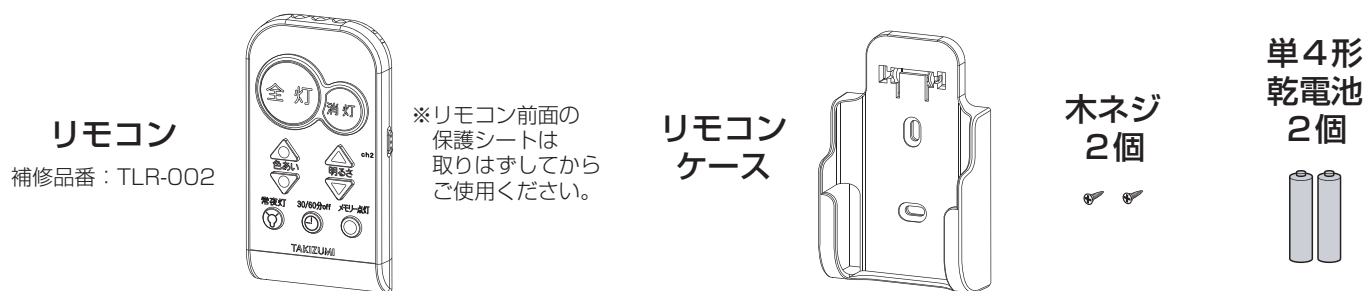
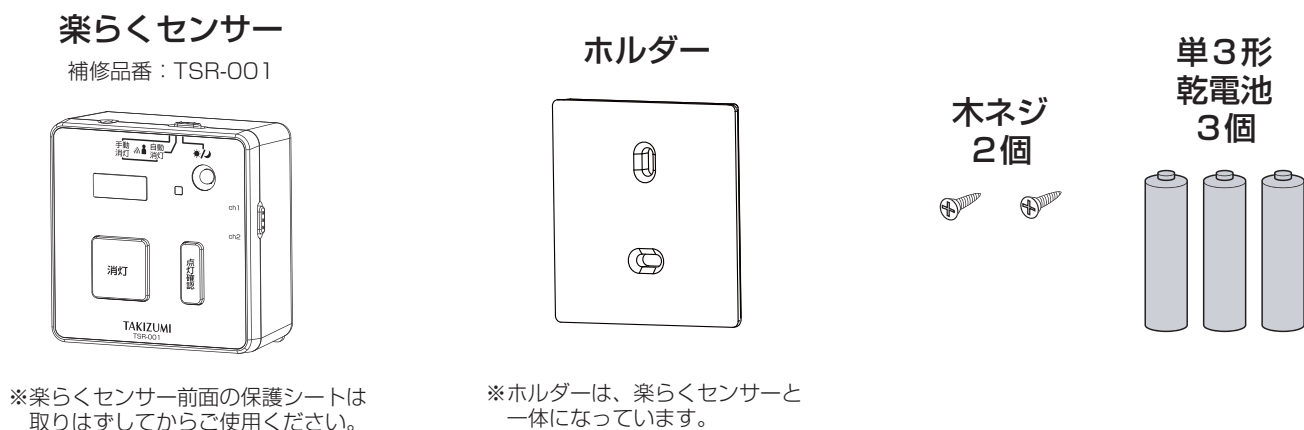
楽らくセンサー
補修品番：TSR-001

※楽らくセンサー前面の保護シートは
取りはずしてからご使用ください。

ホルダー

※ホルダーは、楽らくセンサーと
一体になっています。

木ネジ
２個

単３形
乾電池
３個

【照明器具を取り付ける】

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。
（一部姿図を省略しております。）

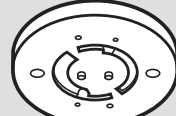
1 天井についている配線器具を確認する。　※壁スイッチと併用をおすすめします。

天井に下図のような配線器具が付いている場合、取り付けできます。

下記以外の配線器具の場合、配線器具が設置されていない場合、取り付けできません。
◎販売店、工事店に交換を依頼してください。（工事には資格が必要です。）

天井からの出しろが22mmの配線器具

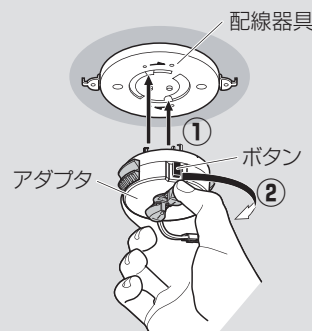
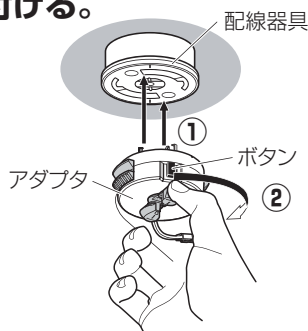
角型引掛シーリング　丸型引掛シーリング　丸型フル引掛シーリング　フル引掛ローゼット

天井からの出しろが11mmの配線器具

引掛埋込ローゼット（ハンガー付）　引掛埋込ローゼット（ハンガーなし）

2 天井の配線器具にアダプタを取り付ける。

①位置を合わせる

②カチッと音がするまでアダプタを右に回して取付ける

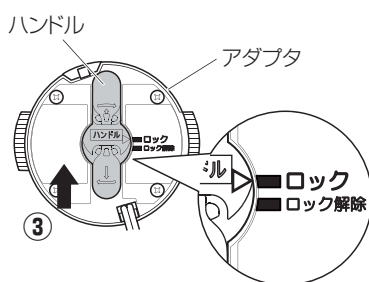
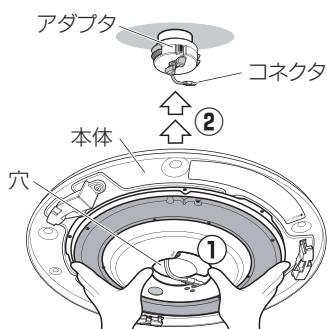
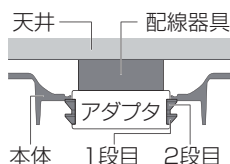
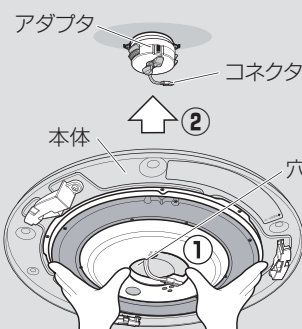
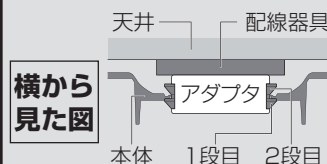
確認 ボタンを押さずに左に回して外れないことを確認する

⚠警告

アダプタ、本体は確実に取り付ける。
落下してけがのおそれがあります。

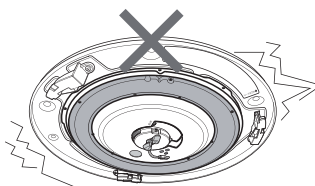
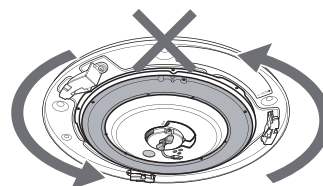
3 本体を取り付ける。

①本体中央の穴にコネクタを通す。

②本体をアダプタに合わせて押し上げる。

③アダプタのハンドルをロックする。

ハンドルをスライドさせて▲印をロックの位置に合わせる。

カチッ、カチッと2度、音がするまで押し上げる。

2段目まで押し上げる

カチッと1度、音がするまで押し上げる。

1段目まで押し上げる

4 本体が正しく取付けられているか確認する。

確認 右図の場合、正しく取付けされていないので手順 3 を再度行なってください。

本体がグラグラする　　**本体が簡単に回転する**

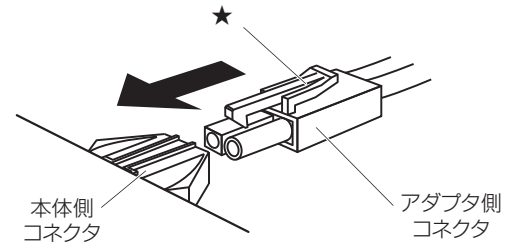
5 コネクタを接続する。

アダプタ側コネクタを
本体側コネクタに確実に
差し込む。

確認 ★の部分を押さえずに引っ張って、アダプタ側のコネクタが抜けないことを確認してください。

⚠警告

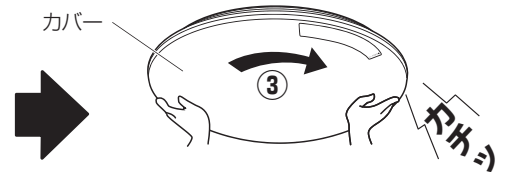
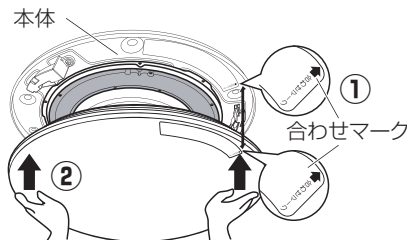
コネクタ接続後は本体を無理に回転させないでください。
器具や配線器具の落下、破損の原因になります。

★
本体側コネクタ
アダプタ側コネクタ

6 カバーを取付ける。

① 本体とカバーの合わせマークを合わせる。

② カバーを持ち上げる。

③ カチッと音がするまでカバーを右に回す。

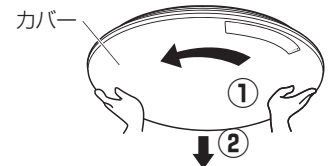
本体
合わせマーク
カバー
カチッ

カバー取付時に本体が簡単に回転する場合は、本体が正しく取り付けされていません。手順 3 に戻って本体の取付を確認してください。

確認 カバーが確実に取付けされていることを確認してください。

取り外しかた

① カバーを左に回す。

② カバーを外す。

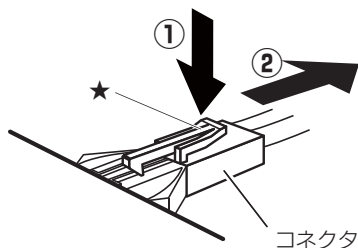
カバー

【照明器具を取り外す】

安全のため、必ず電源を切ってから行ってください。（一部姿図を省略しております。）

1 コネクタを外す。

① コネクタの★の部分を押さえながら

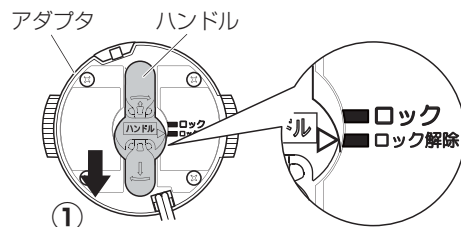
② 引き抜く。

★
コネクタ

2 本体を取り外す。

① アダプタのロックを解除する。

② 本体が落ちないようにしっかりと支えながら

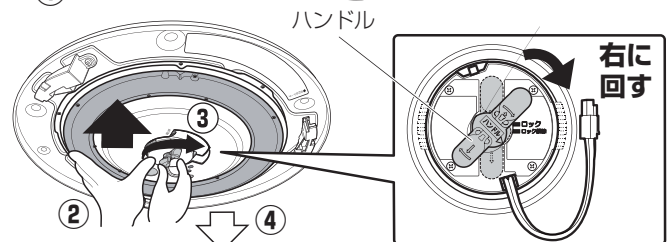
③ ハンドルを右に回す。

④ 本体をゆっくりと下げて取り外す。

アダプタ
ハンドル
ロック
ロック解除

ハンドルをスライドさせて▲印をロック解除の位置に合わせる。

ハンドル
右に回す

⚠警告

本体が落ちないようにしっかりと支える。
落下してけがのおそれがあります。

3 アダプタを外す。

① ボタンを押しながら

② 左に回して外す。

ボタン
アダプタ

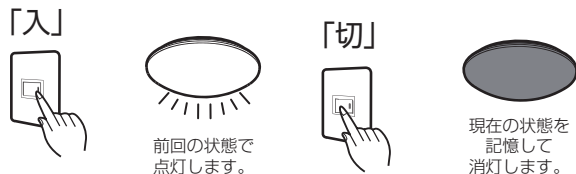
【あかりをつける・消す】

壁スイッチで照明器具を操作する

点灯・消灯する

「入」

前回の状態で
点灯します。

「切」

現在の状態を
記憶して
消灯します。

●ただし、リモコンで「明るさと色あい」を調節した状態で消灯した場合、
現在の状態は記憶しません。そのため、次にONしたときは、最後に
メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。

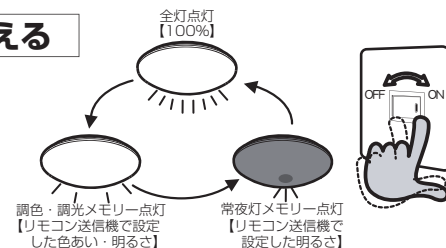
点灯状態を切り替える

壁スイッチを素早く
（約３秒以内に）
ＯＦＦ⇔ＯＮと
切り替えると次の順に
点灯状態が切替ります。

全灯点灯
【100%】

調色・調光メモリー点灯
【リモコン送信機で設定
した色あい・明るさ】

常夜灯メモリー点灯
【リモコン送信機で
設定した明るさ】

OFF ON

●壁スイッチ１個で2台以上の照明器具を使用しないでください。
点灯状態が、同時に切り替わらない場合があります。

点灯状態を調節し記憶させる

ＬＥＤ点灯中に調光・調色操作を行ない、メモリー点灯ボタンを長押しすることにより
その明るさ、色あいを記憶することができます。

① リモコンの「全灯ボタン」を
押してＬＥＤを点灯させる。

点灯

② リモコンの「調光ボタン」
「調色ボタン」を押して
ＬＥＤの明るさと色あいを
調節する。

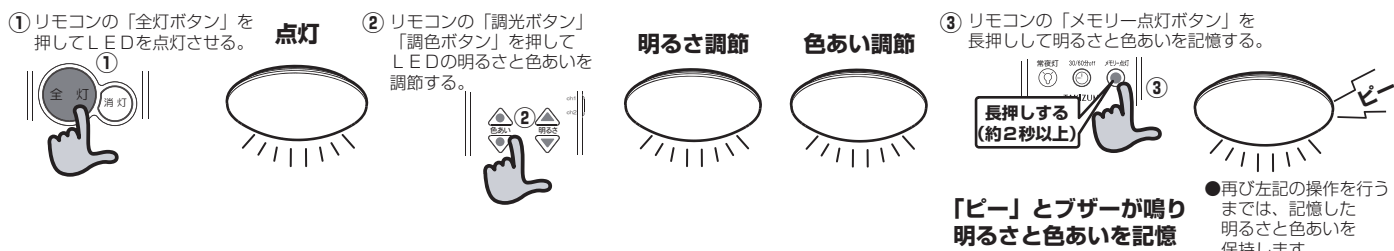
明るさ調節　**色あい調節**

③ リモコンの「メモリー点灯ボタン」を
長押しして明るさと色あいを記憶する。

**長押しする
（約2秒以上）**

ピー

**「ピー」とブザーが鳴り
明るさと色あいを記憶**

●再び左記の操作を行う
までは、記憶した
明るさと色あいを
保持します。

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させる

記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯することができ、「お気に入りの点灯状態」としてご利用できます。

リモコンの「メモリー点灯
ボタン」を押してＬＥＤを
点灯させる。

**記憶した明るさと
色あいで点灯**

●初期設定は
（明るさ：100%
色あい：昼白色4700K）
の状態で記憶されています。

【リモコンの便利な使いかた】

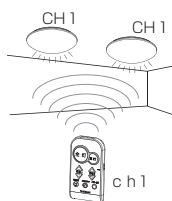
2台までのリモコン照明器具を操作する　照明器具のチャンネルを変更できます

チャンネル設定で できること

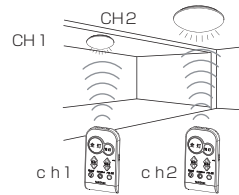
リモコンのチャンネルを切り替えると
１台のリモコンで複数の本体が操作
できます。また、リモコンで操作
できない時は、チャンネル設定が
合っていない場合があります。

**●複数の器具を同時に
点灯できます。**

（例）
一部屋に2台の
リモコン
照明器具が
ある場合

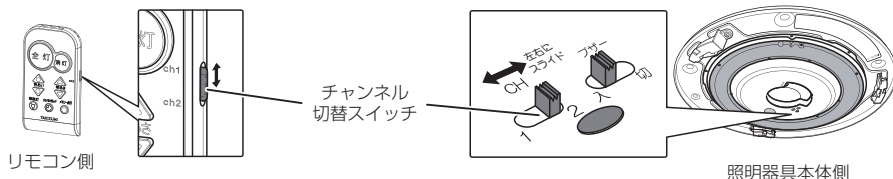
CH１　CH１　ｃｈ１

**●近くの器具を別々に
点灯できます。**

（例）
隣室にも
リモコン
照明器具が
ある場合

CH１　CH２　ｃｈ１　ｃｈ２

チャンネルの設定方法

上図のように照明器具
本体側とリモコン側の
チャンネルをあわせる

チャンネル
切替スイッチ

リモコン側

照明器具本体側

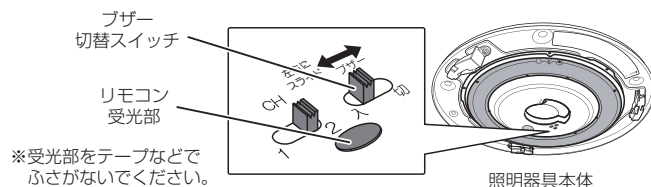
ブザーの設定方法

照明器具本体のスイッチを切り替える
ことで、’ピッ’と鳴る操作音を出したり
消したりすることができます。

ブザー
切替スイッチ

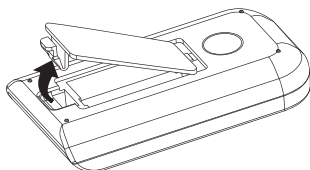
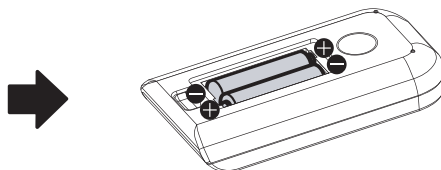
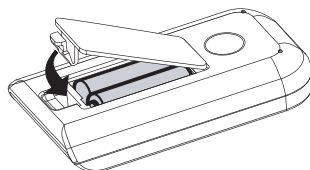
リモコン
受光部

※受光部をテープなどで
ふさがないでください。

照明器具本体

【リモコンについて】

リモコンで照明器具を操作する　壁スイッチは「入」の状態にしてください。

乾電池の入れかた

❶裏側のカバーをはずす。

❷電池の⊕⊖を正しく入れる。

❸カバーを取り付ける。

使用する電池や条件により半年未満で消耗することがあります。※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。
交換時は、２本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

リモコンケースの使いかた

壁などに取付ける場合

木ネジ

リモコンケース

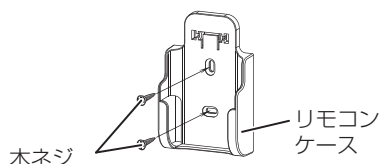
テーブルなどに置いて使用する場合

スタンドアーム

照明器具本体

送信部

リモコン

確認 リモコンを操作する場合はリモコンケースから取り出し照明器具本体に送信部を向けて操作してください。

リモコンのボタンについて

全灯ボタン
１００%の明るさで点灯します。
●蓄光ボタンが太陽光や照明器具の光を蓄えて発光します。

消灯ボタン
消灯します。

消灯ボタン操作	点灯状態
１回押す	すぐに消灯
２回続けて押す	約30秒後に消灯

調色ボタン
光色を白い色から暖かい色の間で調節します。

チャンネル切替スイッチ
操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（6ページの２台までのリモコン照明器具を操作するを参照）⇒初期設定：ch2

調光ボタン
明るさを調節します。
【調光範囲：100%～約10%まで】

常夜灯ボタン
常夜灯を点灯、明るさを調節します。
【調光範囲：明暗上下5段階】
⇒初期設定：最大の明るさ（５段目）
※常夜灯は調色できません。

常夜灯ボタン操作	常夜灯点灯状態
押す	5段階に順次切り替わる

メモリー点灯ボタン
メモリー設定操作をした「明るさと色あい」で点灯します。
ボタンを長押し（2秒以上）で点灯状態を記憶します。
⇒初期設定（明るさ：100%　色あい：昼白色4700K※）
⇒（6ページのLEDの点灯状態を調光・調色し記憶させる、記憶した明るさ、色あいをワンタッチで点灯させるを参照）

offタイマーボタン
offタイマーをセットすると30分または60分後に自動消灯を行います。

リモコン表示：全 灯 / 消 灯 / ch1 / ch2 / 色あい / 明るさ / 常夜灯 / 30/60分off / メモリー点灯 / TAKIZUMI

押すごとに下記の動作を繰り返します

60分後消灯（「ピッピッピッ」と音がする）→ 30分後消灯（「ピッピッ」と音がする）→ 60分後消灯に戻る

タイマーの解除方法について

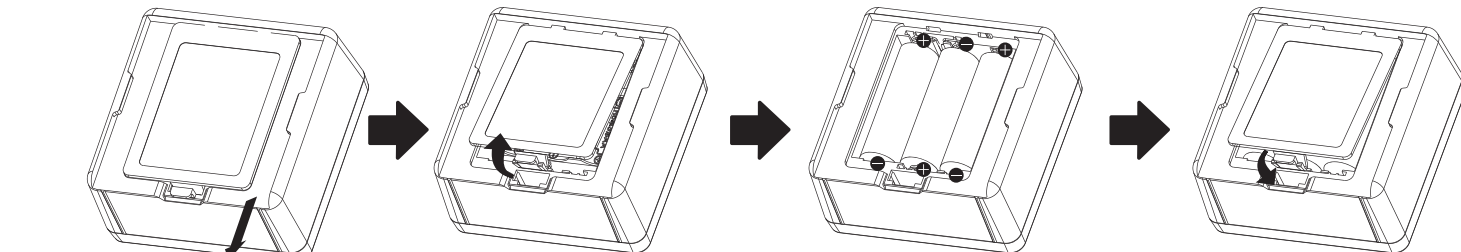
タイマー設定後、offタイマーボタン以外のボタンを押すと’ピー’とブザー音が鳴ってタイマーは解除されます。
必要な場合は、改めてタイマー設定をおこなってください。

メモリー点灯ボタン操作	ブザー音	点灯状態
押す	ピッ	設定した状態で点灯
長押し（約2秒以上）	ピー	照明器具の点灯状態をメモリー設定

※ K（ケルビン）とは、色温度の単位で光の色を数値化したものです。

【楽らくセンサーについて】

乾電池の入れかた

①ホルダーをはずす。　②裏側のカバーをはずす。　③電池の ⊕⊖を正しく入れる。　④カバーを取り付ける。

使用条件によっては消耗が早くなります。

※付属の電池は動作確認用ですので、電池寿命が短くなる場合があります。交換時は、3本とも新しい同じ種類のものを使用してください。長期間使わないときは、電池を取り出してください。(液漏れによる故障防止)

※電池を入れて電源が入ると、約1分間程度状態表示LEDが点滅してセンサーを初期化します。その間は楽らくセンサーは動作しません。

ホルダーの使いかた

壁などに取付ける場合

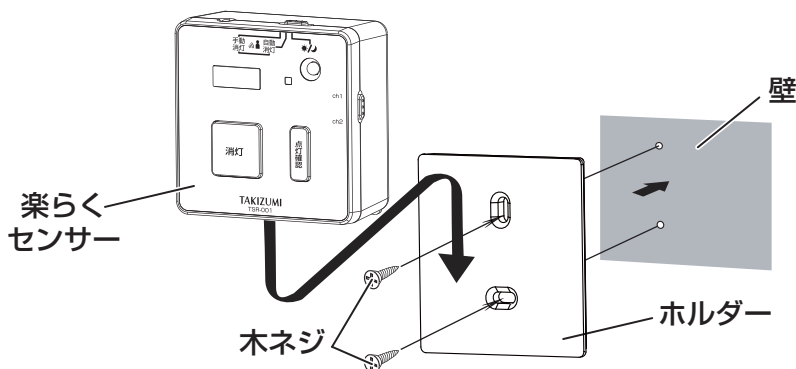
ホルダーを楽らくセンサーから取り外し、壁に取り付けます。

※テーブルなどに置いて使用する場合はホルダーを使用する必要はありません。

楽らくセンサー
壁
ホルダー
木ネジ

センサー各部の説明

送信部（2ヵ所）

器具に信号を送ります。

センサーモード切替スイッチ

動作モードを切り替えて使用します。
⇒（モード1：人を検知し自動点灯/手動消灯モード）
（モード2：人を検知し自動点灯/自動消灯モード）
（モード3：明るさ暗さを検知し自動点灯/自動消灯モード）

状態表示ＬＥＤ

楽らくセンサーの状態をLEDの点滅で表現します。

状態	LED表示
電源投入時初期化時	**（約1分間）点滅を繰り返す**
信号送信時	**2回点滅**
センサー無効時	**（約1分間）3回連続点滅を繰り返す**
電池残量減少時	**電池がなくなるまで点滅を繰り返す**

熱線センサー検知部

熱変化する物体を検知します。
注意：静止している人は検知できません。
注意：センサー検知部の前を塞いで使用した場合、センサーが検知できません。

チャンネル切替スイッチ

操作する照明器具のチャンネルを設定する場合に使用します。
⇒（6ページの2台までのリモコン照明器具を操作するを参照）⇒初期設定：ch2

消灯ボタン

①**単押し：**ボタンを押すと一瞬暗くなった後、約30秒後に消灯します。
②**長押し：**約3秒間押し続けると楽らくセンサーが off の状態になります。

点灯確認ボタン

ボタンを押して楽らくセンサーを設置する際信号が照明器具に届くか確認します。
⇒（センサーがoffの状態のときにこのボタンを押すと楽らくセンサーがonの状態になります。）

手動消灯　自動消灯　消灯　点灯確認　ch1　ch2　TAKIZUMI TSR-001

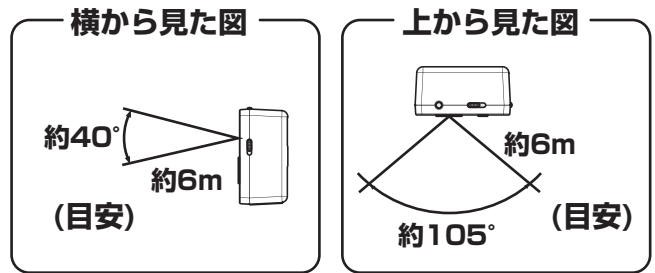
【楽らくセンサーの検知エリアと設置方法について】

センサーはおおよそ右図の「検知エリア」で検知します。
右図の「検知エリア」を参考に検知範囲を確認してください。

楽らくセンサーは壁面取り付けや
机などの上に置いて使用できます。

●検知範囲は、あくまで目安としてお考えください。
●静止している人は検知できません。
●楽らくセンサーを机などの上に置いて使う場合は
　安定した場所に置いて倒れないようにしてください。
●楽らくセンサーの『熱線センサー検知部』の前を塞いで
　使用した場合、センサーが検知できません。

●センサーの検知エリア

横から見た図：約40°　約6m　（目安）
上から見た図：約6m　約105°　（目安）

1 楽らくセンサーの設置場所を決める。

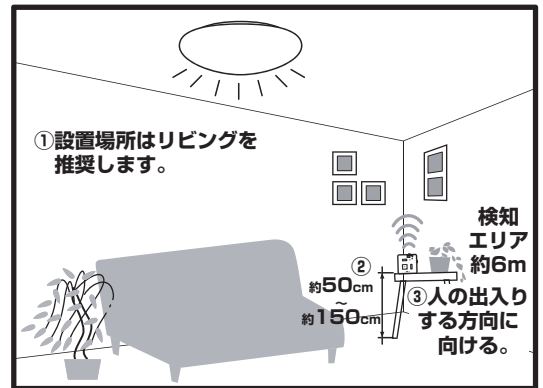
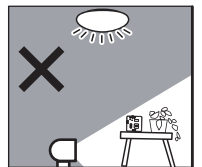
楽らくセンサーは図のような場所に設置してご使用ください。

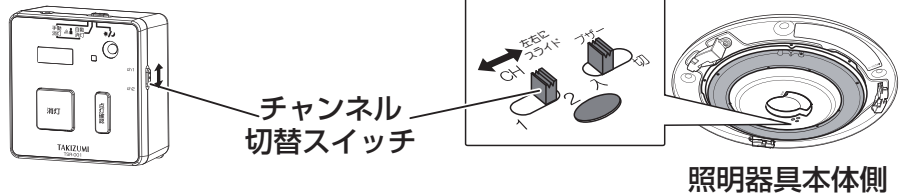
① 楽らくセンサーはリビングでのご使用を推奨します。
　※ご使用の環境によっては動作に制限があります。

② 楽らくセンサーの設置する高さは約50cm～約150cmの
　範囲内で設置してください。
　※室内のペットが動いた場合もセンサーは検知します。検知したくない
　　場合は、設置場所をなるだけ高くしたりテーブルの上に設置し、
　　テーブルの天面を使って、下方向への検知エリアを遮断するようにして
　　設置することをお奨めします。

③ 楽らくセンサーの正面をリビングの人の出入りする方向に向けて
　設置してください。
　※楽らくセンサーは検知範囲を横切った瞬間に検知しますので、
　　人が通った時に点灯させたい検知エリアを狙って設置してください。

　　誤った設置方法ではセンサーが正しく動作しないことがあります。

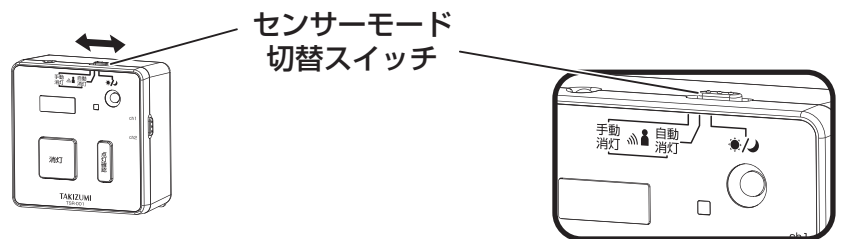
①設置場所はリビングを推奨します。
②約50cm～約150cm
検知エリア約6m
③人の出入りする方向に向ける。

確認
太陽光線やスタンドライト
などの強い光が直接センサーを
照らす場所には設置しないで
ください。
誤動作の原因になります。

2 チャンネルを設定する。

図のように照明器具本体側に
リモコンと楽らくセンサーの
チャンネルを同じにあわせる。

チャンネル切替スイッチ
照明器具本体側

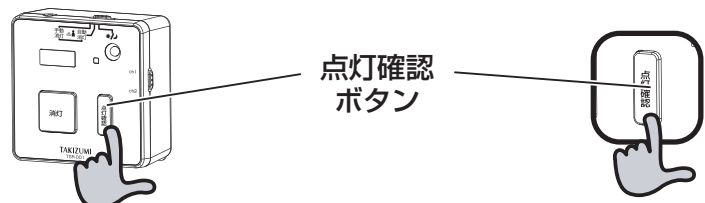
3 センサーモードを設定する。

図のように楽らくセンサーの
センサーモードを設定する。
⇒（10ページの楽らくセンサーの
　　　　　　モードについてを参照）

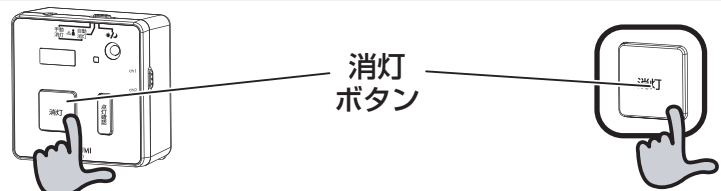
推奨モードは『手動消灯モード』です。

センサーモード切替スイッチ
手動消灯　自動消灯

4 送信信号が届くかを確認する。

設置場所に楽らくセンサーを設置した状態で
『点灯確認』ボタンを押して照明器具が点灯
するかを確認してください。
※壁スイッチがoffの状態だと照明は点灯しません。
　壁スイッチをonの状態にしてください。

点灯確認ボタン

5 消灯ボタンを押して消灯する。

設置場所に楽らくセンサーを設置した状態で
『消灯』ボタンを押して消灯してください。

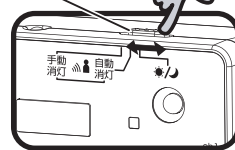
消灯ボタン

6 楽らくセンサーの設置完了。

楽らくセンサーのモードについて

楽らくセンサーは、人感センサー・照度センサーを搭載しており周囲が暗くなり人が近づくとセンサーの働きにより照明器具を点灯させることができます。
楽らくセンサーのモードは、次の３つのモードに切り替えて使用する事ができます。
（通常使用は『手動消灯モード』でご使用を推奨します。）

工場出荷時は推奨モードの『手動消灯モード』になっています。

センサーモード
切替スイッチ

手動消灯　自動消灯

各モードの動作イメージ

手動消灯モード

モード　手動消灯

待機　**暗く※1なると センサー待機状態**

検知　**人が検知範囲に 入ると点灯**

あかりを消す※3ときは付属のリモコンの消灯ボタンを２回つづけて押ししてください。一瞬暗くなった後、約30秒後に消灯します。
⇒（7ページのリモコンのボタンについてを参照）

全灯　消灯

リモコン

注意：付属のリモコンで消灯できない場合は楽らくセンサーの消灯ボタンを押して消してください。

自動消灯モード

モード　自動消灯

待機　**暗く※1なると センサー待機状態**

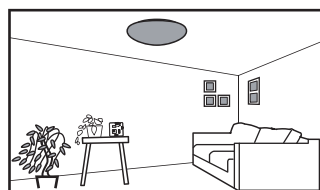
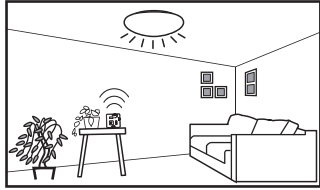
検知　**人が検知範囲に 入ると点灯※2**

約3分後消灯　**人がいなくなったり、動かずにじっとしていると約3分後に一瞬暗くなった後 約30秒後に消灯します。**

楽らくセンサーの動作確認は必ず薄暗い状態で行ってください。

明暗モード

モード

消灯　**明るい※1間は消灯**

検知　**暗く※1なると点灯**

消灯　**明るく※4なると消灯**

確認

※1 周囲の明るさが薄暗く（約35lx以下）なった状態で検知エリアに人などの移動を検知した場合作動します。
約35lx以上のときはセンサーは反応しません。

【JIS Z9110 より数値を設定】

注意：照度センサーの明るさの設定は変更することができません。

※2 センサー検知範囲内に人がいても静止している場合や動きが少ないとセンサーは人を検知できずに消灯します。

※3 消灯後、約1分間はセンサーは人を検知しません。

※4 明暗モードは周囲が明るくなると消灯します。
また、周囲が暗くなってから点灯して最大で約12時間経過すると消灯します。

約35lx

●住宅

照度lx	1 2 5 10 20 30	50 75	100 150	200 300	500 750	1000 1500	2000
居間	——	全般	——	○団らん ○娯楽(13)	○読書 ○化粧(10) ○電話(14)	○手芸 ○裁縫	——
応接室（洋間）	——	全般	——	○テーブル(12) ○ソファ ○飾りだな	——		

〈JIS照度基準〉

JIS Z9110ー1979「照度基準」
付表7ー1より一部抜粋

注　(10)　主として人物に対する鉛直面照度とする。
(12)　全般照明の照度に対して、局部的に数倍明るい場所を作ることにより、室内に明暗の変化を作り、平たんな照明にならないことを目的とする。
(13)　軽い読書は娯楽とみなす。
(14)　他の場所でもこれに準ずる。

備考　1.　それぞれの場所の用途に応じて全般照明と局部照明を併用することが望ましい。
2.　居間、応接室、については調光を可能にすることが望ましい。

【故障かな？と思ったら】　下表に従って点検してください

現　象	考えられる原因	参照ページ
点灯しない。	壁スイッチがＯＦＦになっている。	壁スイッチをＯＮにしてください。**⇒6ページ・・・**
	器具のコネクタが確実に差し込まれていない。	器具のコネクタを確実に接続してください。**⇒5ページ・・・**
消灯しない。	楽らくセンサーの消灯ボタンを押して操作している。	楽らくセンサーの消灯ボタンを押すと一瞬暗くなった後、約30秒後に消灯します。　**⇒8ページ**
検知範囲に人が入っても点灯しない。	壁スイッチがＯＦＦになっている。	壁スイッチをＯＮにしてください。**⇒6ページ・・・**
	周囲の明るさが、点灯条件になっていない（約35lx以下）	照度センサーの明るさの設定は変更することができません。**⇒10ページ・・・**
	楽らくセンサーが明暗モードに設定されている。	手動消灯モードまたは自動消灯モードに設定してください。明暗モードは人の動きによる温度変化を検知しません。**⇒10ページ・・・**
検知範囲が小さい。検知しにくいときがある。	暑い日などに周囲温度と人体の温度差が少ない。	本センサは人の動きによる温度変化を検知するため左記の場合検知しにくいことがあります。**⇒12ページ・・・**
リモコンや楽らくセンサーで操作できない。	電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。**⇒7,8ページ・・・**
	電池が消耗している。	電池を交換してください。**⇒7,8ページ・・・**
	リモコンや楽らくセンサーと器具のチャンネルが合っていない。	リモコンや楽らくセンサーと器具のチャンネルを合わせてください。**⇒6,9ページ・・・**
勝手に消灯する。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分がセットされている。	ｏｆｆタイマー３０分／６０分を解除してください。**⇒7ページ・・・**
	楽らくセンサーが自動消灯モードに設定されている。	手動消灯モードに設定してください。**⇒10ページ・・・**
	楽らくセンサーが明暗モードに設定されている。	手動消灯モードに設定してください。**⇒10ページ・・・** 明暗モードは周囲が明るくなると消灯します。また、周囲が暗くなってから点灯して最大約12時間経過すると消灯します。
検知範囲に人がいるのに消灯する。	人が静止している（動きが小さい） **自動消灯モード** モード 自動消灯	少し動くことで点灯します。（故障ではありません）**⇒10ページ・・・**
勝手に点灯する。	非常に短い停電などにより壁スイッチ機能がはたらき点灯状態が切り替わった可能性がある。	壁スイッチをOFFにしてください。**⇒6ページ・・・** リモコンまたは壁スイッチ操作してください。**⇒6ページ・・・**
検知範囲に人がいないのに点灯する。	検知範囲に人以外の熱源がある。 ●風などでよくゆれる物（カーテン、植物） ●ストーブ、エアコンなどの暖房器具 ●ペットなどの小動物	楽らくセンサーの設置場所を変更してください。**⇒9ページ・・・**
明暗モードで自動で消灯しない。	楽らくセンサーで点灯せずにリモコンや壁スイッチの切替で点灯させた。 **明暗モード** モード	楽らくセンサーで点灯していない場合は **⇒10ページ・・・** 自動で消灯できません。（故障ではありません）

上記の点検でなお異常のある場合には、ただちに電源を切り、ご購入店、弊社お客様相談室にご相談ください。

【楽らくセンサーについての注意点】

●このセンサーの性質は、人体検知ではなく、周囲の明るさと温度変化に対しての熱源の移動による温度変化を検知します。

●風などの影響による周囲の温度変化を検知し、点灯する場合があります。

●夏場など気温が体温に近づいたときは、検知しにくくなります。

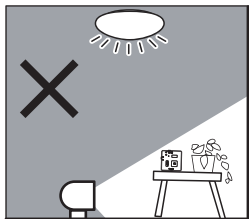
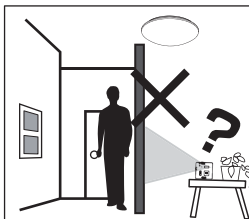
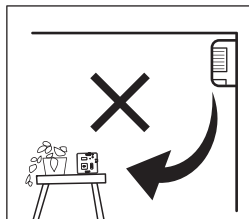
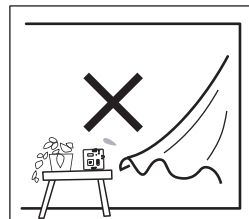
●人体以外の熱源（小動物など）が、検知エリア内で移動した場合でも検知して点灯します。

●センサー検知範囲内に人がいても静止している場合や動きが少ないとセンサーは人を検知できずに消灯します。その場合は体を動かすと再点灯します。

●楽らくセンサーの消灯ボタンを押したときに消灯信号を送信すると少し暗くなった後、約30秒後に消灯します。

●楽らくセンサーの『熱線センサ検知部』の前を塞いで使用した場合、センサーが検知できません。

●次のような場所には設置しないでください。

・誤動作の原因となります。

太陽光線やスタンドライトなどの強い光が直接センサーを照らす場所

障害物が感知エリアをさえぎる場所（透明なガラスやプラスチックも含む）

急激な温度変化のある場所（エアコンやファンヒーターなどの吹出口の近く）

風でよくゆれるカーテンがある場所

【仕様】

使用電圧	周 波 数	消費電力	入力電流
AC100V	50/60Hz共用	全灯：48.0W　常夜灯：1.3W　待機時：1W以下	0.49A

●LED照明器具の光源寿命は、40,000時間です。（照明器具の寿命とは異なります。）
光源の寿命は、点灯しなくなるまでの総点灯時間または、全光束が点灯初期の70%に下がるまでの総点灯時間のいずれか短い時間を推定したものです。

タキズミ照明器具保証書

※お客様へ　保証書の記載内容をよくお読みいただき、販売店様発行の領収書と合わせて大切に保管してください。

<保証について>

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 保証期間は製品お買い上げ日から**1年間**です。但し、LED電源は**5年間**です。**お買上げ日より5年以内に故障が発生した場合は、保証規定の範囲で無料修理させていただきます。**
 ※24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間の使用の場合は、上記の半分の期間とします。
5. **LEDランプ搭載器具、消耗品（カバー、リモコン、楽らくセンサー、電池など）は、5年保証の対象外となります。**
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
 This warranty is valid only in Japan.
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
8. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 (1)使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 (2)お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 (3)火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 (4)車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
 (5)一般家庭用以外（例えば業務用等）に使用された場合の故障及び損傷
 (6)施工上の不備に起因する故障や不具合
 (7)法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わない事による故障及び損傷
 (8)本書及び領収書あるいは販売店様発行の保証書のご提示がない場合
 (9)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合

<アフターサービスについて>

1. 保証期間中に万一故障が起きた場合は、保証書を添えて、お買い上げの販売店までお申し出ください。
2. 保証期間終了後は、お買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。
 修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
3. アフターサービスについてのご不明な点や修理に関するご相談は、下記「お客様相談室」までご相談ください。
4. 弊社は照明器具の補修用性能部品（電気部品）を製造打ち切り後最低6年間保有しています。
 （※セードなどの電気部品以外の部品は含まない）
 補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

※保証書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な点はお買い上げの販売店または、下記「お客様相談室」までご相談ください。

品番	TXS80028	保証期間（お買い上げ日から）	本体:1年間（但し、LED電源5年間）	お買い上げ日	年　月　日

お客様	お名前	販売店名・住所・電話番号
	ご住所　〒　　ー	
	電話番号　(　　　)　　ー	

●お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動及び、その後の安全点検活動のために記載内容を利用させて頂く場合がございますので、ご了承ください。

ご不明な点などは下記までご連絡ください。

瀧住電機工業株式会社

〒546-0035 大阪市東住吉区山坂2-21-16

「お客様相談室」 フリーダイヤル 0120-226-544

受付時間/月～金(土、日、祝日、を除く)　9:00～17:00

http://www.takizumi-denki.com/